

## 令和4年(2022)12月期 (第60期) 第1四半期 決算ダイジェスト

連結売上 611 億 59 百万円(前年同期比+6.1%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 25 億 34 百万円(前年同期比△7.1%)

### 令和4年(2022)12月期 -第60期- 第1四半期 連結経営成績

	令和3年(2022)12月期 第1四半期		令和4年(2022)12月期 第1四半期							
	実績	率	実績	率	前年増減額	前年同期比	予算	率	予算差額	予算比
売上高	576億23百万円	-	611億59百万円	-	+35億35百万円	+6.1%	611億30百万円	-	+29百万円	+0.0%
売上総利益	123億97百万円	21.5%	128億83百万円	21.1%	+4億86百万円	+3.9%	126億52百万円	20.7%	+2億31百万円	+1.8%
販売費及び一般管理費	85億81百万円	14.9%	93億95百万円	15.4%	+8億14百万円	+9.5%	92億57百万円	15.1%	+1億38百万円	+1.5%
(うち減価償却費)	17億04百万円	3.0%	16億67百万円	2.7%	△37百万円	△2.2%	16億47百万円	2.7%	+20百万円	+1.2%
営業利益	38億16百万円	6.6%	34億88百万円	5.7%	△3億27百万円	△8.6%	33億95百万円	5.6%	+93百万円	+2.8%
経常利益	40億18百万円	7.0%	36億71百万円	6.0%	△3億46百万円	△8.6%	34億29百万円	5.6%	+2億42百万円	+7.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	27億28百万円	4.7%	25億34百万円	4.1%	△1億93百万円	△7.1%	23億34百万円	3.8%	+2億00百万円	+8.6%
1株当たり四半期純利益	41円37銭	-	38円44銭	-	△2円93銭	-	35円39銭	-	+3円05銭	-
PB売上高	112億89百万円	19.6%	114億57百万円	18.7%	+1億67百万円	+1.5%	121億17百万円	19.8%	△6億59百万円	△5.4%
設備投資額	6億78百万円	-	17億70百万円	-	+10億92百万円	-	-	-	-	-

### セグメント別実績

	令和3年(2021)12月期 第1四半期		令和4年(2022)12月期 第1四半期				
	売上高	売上総利益	売上高			売上総利益	
	金額	率	金額	前年同期比	予算比	率	前年同期比
ファクトリールート	416 億 96 百万円	20.9%	431 億 17 百万円	+3.4%	△1.7%	20.8%	△0.1pt
e ビジネスルート	111 億 96 百万円	24.1%	126 億 95 百万円	+13.4%	+3.9%	22.5%	△1.6pt
ホームセンタールート	43 億 28 百万円	18.9%	48 億 57 百万円	+12.2%	+6.0%	17.8%	△1.1pt
海外ルート	4 億 01 百万円	38.2%	4 億 88 百万円	+21.6%	+0.7%	36.3%	△1.9pt
全社合計	576 億 23 百万円	21.5%	611 億 59 百万円	+6.1%	+0.0%	21.1%	△0.4pt

売上高 611 億 59 万円 / 前年同期比+6.1%

#### (1)ファクトリールート 431 億 17 百万円(前年同期比+3.4%)

- ①「ユーザー様直送サービス」「MRO ストッカー」などの仕組み提案を積極化
- ②生産工場の稼働に係る環境安全用品や作業用品、設備投資に係る物流保管用品や工事用品などの売上高が増加

#### (2)e ビジネスルート 126 億 95 百万円(前年同期比+13.4%)

- 通販企業様向け 97 億 77 百万円(前年同期比+13.8%)  
 MROサプライ※ 29 億 17 百万円(前年同期比+11.9%) ※電子購買向けの販売。
- ① 約 279 万アイテムに及ぶ商品データベースと得意先様のシステム連携を継続
  - ② ニーズに合わせた梱包形態に対応した独自の物流サービス強化

#### (3)ホームセンタールート 48 億 57 百万円(前年同期比+12.2%)

- プロショップ様への売上高7億 55 百万円(前年同期比+1.9%)
- ① ホームセンター様、プロショップ様に積極的な売場提案を継続
  - ② ホームセンター様の EC 事業の強化に即し、当社の在庫活用や物流システムを活用したサービスを積極提案

#### (4)海外ルート 4 億 88 百万円(前年同期比+21.6%)

- ① コロナ禍で社会活動が制限される中、EC企業への商品データ提供を加速化し、既存得意先様との関係性強化
- ② EC企業やホームセンター企業を含む現地の新規得意先様との取引も拡大

**売上総利益** 売上総利益率 21.1% / 前年同期比△0.4pt

新型コロナウイルス感染症予防に係るマスクなどの利益率の高い商品の売上占有率の低下

**販売費及び一般管理費** 93億 95 百万円 / 前年同期比+9.5%

( )前年同期比

主な要因は以下の通りです。

**(1)運賃及び荷造費** 18 億 40 百万円(+10.1%)

需要増で路線便の出荷個数が増加(+1億66百万円)、うちユーザー様直送の増加(+84 百万円)

⇒出荷個数 178 万個(+28 万個)

注)ユーザー様直送については依頼された得意先様に運賃をご負担いただいております。

**(2)支払手数料** 6 億 22 百万円(+26.3%)

・イントラネットライセンス、プロジェクト支援など (+89 百万円)

・システム保守費用(+14 百万円) ・物流設備保守費用(+18 百万円)

**(3)減価償却費** 16 億 67 百万円(△2.2%)

・プラネット東北のマテハン機器 (△22 百万円)

・プラネット南関東のマテハン機器 (△21 百万円)

**(参考)販売促進費** 2 億 42 百万円(一)

販売促進費に含まれているカタログウェブ掲載料の会計処理を当期変更しています。

従来:カタログウェブ掲載料の入金都度、販売促進費のマイナス

今後:カタログの販売時期まで仮受金、カタログの販売と合わせて売上原価から控除

第1四半期影響額:294 百万円

## 令和4年(2022)12 月期 -第 60 期- 通期業績予想

(単位:百万円)

	令和3年(2021) 12月期 実績 収益認識基準適用前	令和4年(2022) 12月期 計画※	構成比 (%)	前年比 (%)
売上高 (収益認識基準適用前)	229,342	243,500 (246,169)	—	— (+7.3)
売上総利益	48,275	51,720	21.2	—
販売費及び一般管理費	35,383	37,470	15.4	—
(うち、減価償却費)	6,929	6,853	2.8	—
営業利益	12,891	14,250	5.9	—
経常利益	13,572	14,600	6.0	—
親株主に帰属する 当期純利益	11,603	9,960	4.1	—
1株当たり配当金	35円50銭	38円00銭	—	—

※第 60 期計画は「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、上記の連結業績予想につきましては、対前年比は記載しておりません。

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 下津 敦嗣

【本件問い合わせ先】経営企画部 広報 IR 課 課長 富士谷 美貴 内藤 みのり

TEL:03-3433-9840/MAIL:info@trusco.co.jp